

事前評価書

年度	R1
整理番号	

事業名・路線名等	(単)道路改良事業 一般県道 <small>おぼさまおいた</small> 小狭間大分線 <small>あかの</small> 赤野工区	事業主体	大分県
所在地	由布市狭間町 ^{あかの} 赤野		
事業概要	事業の目的	<p>一般県道小狭間大分線は、沿線住民にとって大分市中心部、医大方面への最短ルートとして、日常利用や通勤通学に利用されている重要な路線であり、周辺観光地(由布川溪谷、内成棚田等)へのアクセス道路として利用されている。</p> <p>当該区間は、幅員が狭小・線形不良のため、車両が離合困難な状況で走行に対する安全性が確保されていない状況となっている。</p> <p>このため、道路改良の実施により、通行車両の走行性・安全性の向上を図るものである。</p>	
	事業内容	<p>【計画延長・幅員】 L=630m(現拡)、W=5.5(7.0)m</p> <p>【道路区分】 第3種第4級 【設計速度】 V=40km/h 【計画交通量】 1,850台/日</p> <p>【現況幅員・交通量】 W=2.8~5.6m 交通量 1,870台/日(H27)</p> <p>【重要構造物】 -</p>	
	事業費	C=272百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から5年(令和5年度)	
	事業段階毎の実施計画	<p>1年目 地形測量、路線測量、道路詳細設計、関係機関との協議</p> <p>2年目 用地測量、用地買収</p> <p>3年目 用地買収、道路工事</p> <p>4年目 道路工事</p> <p>5年目 道路工事 完成</p>	
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・由布市庄内町小狭間~由布市狭間町朴木地区住民(120世帯、241人)にとって大分市中心部、医大方面への最短ルートとして、日常利用や通勤通学に利用されている路線である。 ・周辺には由布川溪谷、内成棚田等の観光地があり、かつ、志高湖、城島等奥別府観光地を周遊する道路の一部としてシーズンには多くの観光客が訪れる。 ・知的障害者施設(向陽学園)の関係者の通勤車両、施設利用者(71名)のマイクロバスが通行する。 ・今回事業区間は幅員狭小(最小幅員W=2.8m)で見通しが悪く、普通車同士の離合も困難な箇所がある。また、線形不良(最少半径R=37m)のため大型車の通行にも支障が生じている状況である 	
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・線形不良、幅員狭小の解消により、走行性・安全性が向上 ・地域の生活道路としての利便性の向上 ・観光道路として周辺観光地(由布川溪谷、内成棚田等)へのアクセス強化 	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	B/C=0.9	
	工法の妥当性	・今回のルートは、現況道路を極力活かした現道拡幅で計画しており、大きな補償物件や大規模構造物もなく、事業手法、工法の妥当性が確認できる。	
	コスト縮減	・補償物件を極力避けたルート設定、再生材の積極利用	
	環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・現道を極力利用することで切・盛土を抑制しており、改変量は小さい。 ・切・盛土箇所については緑化を行う。 	
事業実施環境	事業の実効性	H30期成会が事務所に来所し、要望あり(毎年由布市7期成会要望活動あり) 令元年由布市より要望書提出	
	事業の成立性	道路法第29条に基づき事業を実施。	
	事業の特殊性	隣接して無量寿寺の開発(参道整備)計画あり	
対応方針	・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

